

2022

7

No.720

広報

かるいざわ

令和4年7月1日

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

「世界ジュニアカーリング選手権大会2022」

優勝おめでとうございます!

SC軽井沢クラブ
ジュニア

特集 軽井沢エコツーリズム

～軽井沢の魅力、再発進!!～

主 内
な 容

- 参議院議員通常選挙・長野県知事選挙 P7
- 新型コロナワクチン追加(4回目)接種のお知らせ P9
- 環境基本計画策定に伴う環境意識アンケート結果 P10・11
- 教育委員会だより P28

新型コロナウイルスの感染状況等により、記事中のイベント等が中止や延期になる場合があります。

軽井沢病院からの お知らせ

《病院職員募集》

●随時採用

【常勤医師】

募集人員 若干名

※その他詳しい条件等については、問い合わせてください。

【正職員】

募集職種 看護師

募集人員 若干名

募集要件 資格を有する方

募集期限 7月11日(月)まで

※その他詳しい条件等については、問い合わせてください。

【会計年度任用職員】 募集職種

診療放射線技師

看護助手

(介護福祉士、介護職員初任者研修修了者またはヘルパー2級資格取得者)

募集人員 各若干名

募集要件 各資格を有する方

※診療放射線技師は平日・土休日の待機勤務のできる方

募集期限

7月11日(月)まで

休暇

任用期間に応じて20日の有給休暇の付与があります。

給料(月額)

・診療放射線技師

(短大3卒)

188,500円から

・看護助手

151,500円から
189,300円まで

各種手当

通勤手当、時間外勤務手当、期末手当、退職手当(対象条件あり)、特殊勤務手当

※配属先により勤務時間等が異なります。

※その他詳しい条件等については、問い合わせください。

【問い合わせ】

軽井沢病院

☎455111



対話が ひろく 未来 第3回 稲葉俊郎(軽井沢病院長) 萩原確也(軽井沢町教育長)

稲葉…軽井沢町の生活をよくする役割として医療があり教育もあります。7月号では軽井沢町教育長である萩原確也さんとの対話です。

萩原…この数年は感染症の流行の中で今までの慣習を振り返る時期にしました。要らないものは勇気をもって不要だと判断し、省いたことで得た時間や労力を新しい挑戦に向けようと考えました。教員の働き方改革、他校から学べる点は大いに学ぶ、教員同士の交流や学びの場をつくる。子どもだけでなく先生たちも学び変化していく環境を作ることに取り組みました。

稲葉…辛い時期に視点を未来へと向けるのは大事ですね。感染症の中で学びの場の本質が突きつけられました。場から自由になったことで、知識を得る場は教室だけではなくオンラインを介して世界へ一気に拡大したと思います。

萩原…頭で考える事と実際に体が動くことは異なります。頭の知識と実践や体験で得られる二つの世界をうまく融合させる場が学校になると思います。ただ、現状の問題は、大学入試など評価法が変わっていないことです。

稲葉…学生さんたちにも人間の命、体や心のことを共に学べる場をつくりたいです。心を学ぶことは、教育現場ではいじめ問題を解決することにも繋がります。

萩原…いじめは根深い問題です。医療の話とどういうつながりがあるんでしょうか。

稲葉…否定的な言葉を発したとき、自分の心や相手の心にどう影響を与えるのか。心はどう傷を負い、どういうプロセスで回復するのか。誰もが学び理解する必要があると思います。幼少期からの教育が大人のコミュニケーションの基礎になりますから。

稲葉…学生が病院の実地で命の実際を学ぶことはいいですね。理想論も大事ですが、やはりやってみたいと分らないことも多いのです。「まずやってみよう」というアクションが大事です。やる前からダメだ無駄だ、という考えではなく、完璧を目指さずにまずやってみる。その中で適時修正しながら考え続ける姿勢が大事だと思います。

稲葉…互いの世界が歩み寄った時に、何が互いを繋ぐ通路になるのか、実際に反応を起こさないと分からないですね。思いがけない人が異なる世界の架け橋として重要な役割を果たすこともあります。

萩原…予想外のところに突破口が生まれ、結びつきが出てくることはありますね。

稲葉…軽井沢病院の「おくすりてちょう」も、「自分にとっての薬は何だろう」と考え直す挑戦の一つです。本を読んでいいフレーズがあると思わず抜き書きをします。それは「自分にとっての薬」だからではないでしょうか。

萩原…忘れたくないと思うからメモしますね。その時の感動をもう一度追体験したい、とすれば、それは未来の自分への薬なのかもしれません。

稲葉…自分にとっての薬は誰もが本能的に知っていると思います。動物の生存本能のようなもので。萩原…その言葉自体をメモしておきたいです(笑)。忘れないようにメモすることは、知識だけではなく別の目的があるんでしょうね。稲葉…言葉で気持ちが切り替わることも含め、「くすり」の概念を拡張させて学生さんと一緒に考えたいですね。

萩原…子どものアイデアや発想は本当に自由で面白く、とても刺激を受けます。

稲葉…今はLINEやTwitter含めて言葉のやりとりが増えています。言葉は薬にも毒にもなり、絶望から救う言葉もあれば追い込む言葉もあります。日常的な言葉も「薬」と捉えて深めてほしいです。「薬の言葉」を深めるほど、自分や周囲を平和にする力があると思います。

萩原…言葉の薬は、共に発見していくものです。

萩原…学生の頃から言葉の力、言葉の心への影響を学ぶことは重要です。一つのきっかけで想像力や世界が一気に広がって羽ばたく現場を何度も目撃しました。

稲葉…病院が学校と一緒にできると、「いのちの学校」でしょうか。希望が持てる事を共に挑戦していきたいと思っています。萩原さんの行動に根差した挑戦は勇気づけられました。

萩原…こちらこそありがとうございます。

(本対談の全文は病院ホームページで公開しています)
<https://www.kanzawahospital.jp>